

好きです！ 南関三小

学校教育目標

「やさしく・しっかり考え・たくましい
『南関三小っ子』の育成」

《育てたい力》

協力する力 考える力 やり抜く力

3年生「大豆博士になろう！」

3年生は総合的な学習の時間で大豆の栽培から収穫、加工され商品になるまでの学習を通して、丸美屋さんに全面的にお世話になり、食と命のつながりを詳しく学びました。大変ありがとうございました。



学校で育てた大豆を11月20日に収穫しました。11月27日の選別や豆腐づくりでは、めぐり棒やとうみを使いながら友達と声を掛け合って作業する中で、協力する力が自然と育ちました。豆乳ににがりを加えて温めると豆腐になることに感動し、できたての美味しい豆腐を味わうことで、自分たちで育てた大豆が食べ物に変わる過程を体験し考えを深めていきました。

また、3年生の国語の学習では、「すがたをかえる大豆」という説明文の学習があり、



大豆がどのようにして豆腐やみそ、しょうゆなどに変わっていくのかを学びました。これからも、身近なものに目を向けて学びを深めてほしいと思います。

4年生「社会福祉体験」

4年生は総合的な学習の時間に、社会福祉協議会の方を講師に迎えて視覚障がい者の介助体験などの福祉学習に取り組みました。介助する側とされる側の両方を体験し、歩行のサポートや声かけの仕方など、実際に役立つポイントを丁寧に学びました。子供たちは真剣に取り組み、お互いに声を掛け合いながら安全に活動を進める姿が印象的でした。



体験を通して子供たちが役割を分担して助け合う中で、自然と支え合う協力する力が育ちました。相手の立場に立ってどう動けばよいか考える力が深まりました。少し難しい場面でも、あきらめずに最後まで取り組む姿からは、やり抜く力が感じられました。社会福祉協議会をはじめご協力くださった皆様、大変ありがとうございました。

新聞投稿の取組

南関三小では新聞投稿を積極的に行ってています。【読書週間】での投稿において、光や騒音が生き物や自然環境に与える影響を本で学び、環境問題の深刻さに気づいたことや、人間だけでなく多くの命に関わる問題として、協力して改善すべきだと感じたことについて表現した、6年生の森川愛那斗さん「光や音による 環境問題学ぶ」

【R7.10.29日付け熊日】が掲載されました。南関三小では、国語科の授業や週末作文の取組を充実させ、子供たちの表現力を高めています。